



奥州市立 前沢小学校

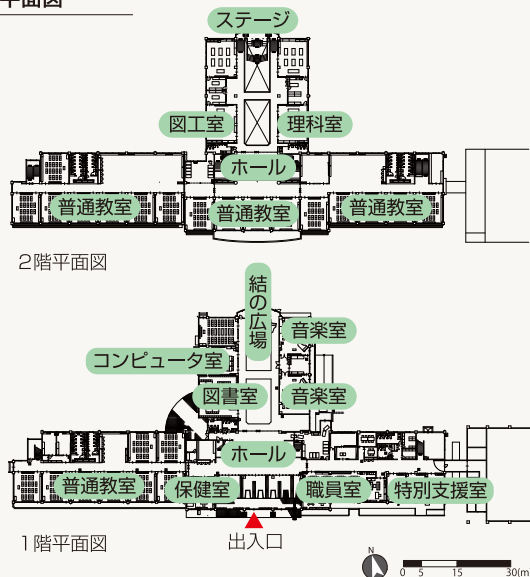
施工地 / 岩手県奥州市前沢区字河ノ畑
71番地1
竣工年月 / 平成25年11月
敷地面積 / 39,763.75m²
延床面積 / 校舎 / 6,571.72m²
屋内運動場 / 1,127.89m²
構造 / 校舎 / 鉄筋コンクリート造2階建
屋内運動場 / 鉄骨造平屋建

笑顔や輝きが絶えない学校づくり

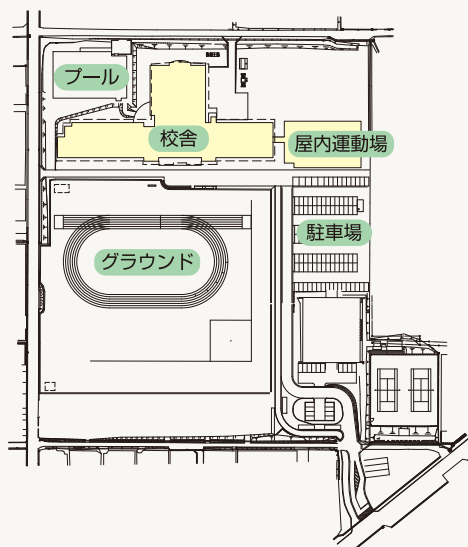
奥州市前沢区内の7つの小学校を1校に統合し開校しました奥州市立前沢小学校は、各校の歴史や文化を継承し、「学習」「生活」「遊び」というそれぞれの空間が結び付き、子どもたちの夢や希望・笑顔や輝きを導き出す学校として平成26年4月に誕生しました。

校舎全体のイメージとして、長年親しまれてきた旧前沢町の花「ツツジ」をアクセントカラーに取り入れ、校舎シルエットは旧前沢町の鳥「キジ」が羽根を広げたようなフォルムとし、地域の方に愛着と親しみを感じていただきながら、華やかな装飾を抑えた個性ある校舎として子どもたちの成長をあたたく見守ります。

平面図



配置図



多様な学習を支える空間

1階昇降口から奥に広がるスペースには子どもたちの学年を超えた交流を生み出し、表現の場や生活の場となる「結の広場」を配置しました。吹抜けとなる開放的な空間は集いの場として学校の一体感を生み出しながら、周囲の諸室との結びつきによりさまざまな場面で子どもたちの才能を導きます。広場に接する図書室は子どもたちが日常的に利用しやすい位置とし、本を身近に感じ読書に親しむ情操教育の場として豊かな心を育み、隣接するコンピュータ室とともに自ら学ぶ姿勢を引き出します。広場奥の2階へと続く階段・踊り場は発表会などのステージとして利用が可能です。隣に配置した音楽室との連携では、演奏会などをおこなう音楽ホールとして子どもたちが奏でる音色で満たされます。



結いの広場



結の広場(ステージ)



普通教室



図書室



音楽室

自然エネルギーの有効活用

子どもたちの学習の場となる普通教室は自然採光や自然通風を確保するためすべて南面配置とし、深い軒の出により夏の直射日光の差し込みを防ぎながら、やわらかな自然光を取り込む室内環境を形成しました。廊下には屋根の高窓から自然光を確保し明るい空間に努め、教室と廊下境の壁に通気窓を設置し、校舎内全体に空気の流れを生む快適で衛生的な学習環境としてあります。その他にも雨水をトイレの洗浄水に利用するなど環境負荷の低減と資源の有効利用に努めエコスクールを実現いたしました。



屋内運動場



多機能トイレ